

## 渡り鳥等における高病原性鳥インフルエンザウイルス保有状況調査について (平成17年9月から平成18年11月)

### 【調査手法】

- (1) 以下に掲げる調査地にて、鳥類を捕獲し血液、喉・総排泄腔の粘膜等を採取（採取後に放鳥。捕獲が困難なハクチョウ類及びカモ類については、基本的に糞便を採取。）。
- (2) 得られた検体から高病原性鳥インフルエンザ（H5及びH7型）ウイルスの有無を分析。

時期	調査地	対象 (主な種：捕獲・採取数)	ウイルスの有無
平成17年 9月3～7日	千葉県木更津市 (小櫃川河口)	極東ロシア方面からの水鳥 (トウネン、ソリハシシギ等：54羽)	陰性
9月19～20日	千葉県習志野市 (谷津干潟)	極東ロシア方面からの水鳥 (トウネン、ソリハシシギ等：12羽)	陰性
11月6～9日	茨城県水海道市 ・坂東市 (菅生沼)	極東ロシア方面からの陸鳥 (アオジ、オオジュリン等：134羽)	陰性
11月18～27日	長崎県対馬市 (対馬島)	中国大陸・朝鮮半島方面からの陸鳥 (ミヤマホオジロ、カシラダカ等：148羽)	陰性
12月15～16日	新潟県新潟市 (佐潟周辺)	極東ロシア方面からの水鳥 (オオハクチョウ：86羽)	陰性
12月30日	茨城県潮来市 (北浦)	極東ロシア方面からの水鳥 (オオハクチョウ、オナガガモ等：56羽)	陰性
平成18年 1月9～10日	千葉県習志野市 (谷津干潟)	極東ロシア方面からの水鳥 (ハマシギ、オナガガモ等：46羽)	陰性
1月31日 ～2月1日	福島県いわき市 (夏井川)	極東ロシア方面からの水鳥 (コハクチョウ、オナガガモ等：72羽)	陰性
2月16～19日	新潟県新潟市 (佐潟周辺)	極東ロシア方面からの水鳥 (コハクチョウ：75羽)	陰性
3月17～19日	沖縄県沖縄市 (比屋根湿地)	東南アジア方面からの水鳥 (ムナグロ、アカアシシギ等：97羽)	陰性
4月23～25日	沖縄県沖縄市 (比屋根湿地)	東南アジア方面からの水鳥 (ムナグロ、ウズラシギ等：68羽)	陰性
4月16～17日 5月21～22日	千葉県習志野市 (谷津干潟)	東南アジア方面からの水鳥 (ハマシギ、ダイゼン等：30羽)	陰性

時期	調査地	対象 (主な種：捕獲・採取数)	ウイルス の有無
9月8～12日	宮城県亘理町 (鳥の海)	極東ロシア方面からの水鳥 (ソリアシジギ、キアシシギ等：56羽)	陰性
9月18～19日	千葉県習志野市 (谷津干潟)	極東ロシア方面からの陸鳥 (シロチドリ、キアシシギ等：4羽)	陰性
10月19～20日	新潟県新潟市 (福島潟)	極東ロシア方面からの水鳥 (コガモ、コハクチョウ：38羽)	陰性
10月21～22日	新潟県阿賀野市 (瓢湖)	極東ロシア方面からの水鳥 (オナガガモ等：73羽)	陰性
11月6～10日	長崎県対馬市 (対馬島)	中国大陸・朝鮮半島方面からの陸鳥 (ミヤマホオジロ、カシラダカ等：110羽)	陰性

#### 【今後の調査予定地域】

##### 中国大陸・朝鮮半島方面からの水鳥 (追加調査地域)

- ・鳥取県・島根県中海 (松江市) : 12月～1月に2回
- ・山口県榎野川 (山口市) : 12月～1月に2回
- ・福岡県和白干潟 (福岡市) : 12月～1月に2回
- ・佐賀県梅の木谷溜池 (白石町) : 12月～1月に2回
- ・長崎県野岳湖 (大村市) : 12月～1月に2回
- ・熊本県上江津湖 (熊本市) : 12月～1月に2回
- ・鹿児島県荒崎 (出水市) : 12月～1月に2回

##### 極東ロシア方面からの渡り鳥調査

- ・千葉県谷津干潟 (習志野市) : 2月に1回
- ・熊本県荒尾海岸 (荒尾市) : 1月に1回

##### 東南アジア方面水鳥

- ・沖縄県沖縄市 (比屋根湿地) : 3月に1回